

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年 3 月 15 日

事業所名 放課後等デイサービス ぱびぷべぽ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			・児童第一に考え、個室や相談室はもちろん、指導訓練室は特に広いスペースを確保している。	・今後も指定基準を遵守し、児童と保護者の安心安全を第一に、適切な運営をしていく。
	2	職員の配置数は適切である	3	1		・指定基準を遵守している。	・今後、報酬改定などにしっかりと対応し、適切な運営ができるように有資格者の採用を積極的に行なっていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			・手すり、スロープなどバリアフリーへの配慮はしっかりできている。	・コロナ対策として、今後も消毒も実施していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			・スタッフミーティングの際にそれぞれの意見を出し合い、幅広い意見が出ている。	・スタッフそれぞれの価値観を押し付けあうのではなく、お互いに理解しながら問題があった際には改善していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	2		・毎年貴重な意見をいただいているので、結果をスタッフ間で共有して改善につなげている。	・今後も、保護者の意見を確実に取り入れて「利用者主体」のサービスを提供していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			・ホームページにて公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		・提携会社、協力会社に協力してもらっている。	・第三者からみた評価もすごく貴重だと思うので、引き続き外部への強化も依頼していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			・年間に4回外部講師による研修会と、定期的な研修の参加をしている。	・「福祉」に関する研修が多かったが、今後はこれまでの研修プラスαで「児童福祉」に特化した研修も取り入れていきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1		・書類管理スタッフが定期的に研修へ参加し、スタッフの意見を踏まえて書類の見直しをし、児童、保護者のニーズがしっかり反映されているかチェックしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			・スタッフ間で意見を出し合い、利用者主体の支援ができるよう努めている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			・スタッフ間で意見を出し合い、春夏秋冬季節に合わせ、四季を感じられるようなプログラムを提供するとともに、利用者主体の支援ができるよう努めている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	3		・弊社コンセプトである、「感動体験を通しての自立と成長」を常に意識して支援している。今後はさらにきめ細かく設定し、よりよいサービスの提供を意識していく。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			・個別活動が必要な場合や、集団での活動が必要な場合があるので、個別での目標と社会性など集団活動での目標を設定している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			・当日の利用児童によって1日の流れや状況は異なるので、日々の会議の中で確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1		・送迎時など、学校や保護者からの情報はスタッフ間で共有している。	

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			・支援記録の徹底、見直しをしている。	・定期的に記録を見直し、「支援計画通りに支援できているか」を確認している。
	18 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2	2		・児童の成長は早いので、しっかりと見直しの必要性を理解できている。	・計画相談員と協力し、日頃の様子を細かく情報共有することでよりよいサービス計画ができると思うので、引き続き連携をしっかりと取っていききたい。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	2		・弊社として、基本活動の中でも特に「社会生活や経験の範囲が制限されないようにする」事に重点を置き、障がいのない子ども以上の体験に参加できるようなプログラム作りに励んでいる。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			・管理者だけの参加ではなく、他のスタッフも参加できている。	・スタッフによって、該当児童の態度が違ったりするので見え方も違う。より細かな情報を会議の中で提供できるよう、今後も管理者以外のスタッフも積極的に参加していく。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	2		・コロナによる緊急下校や休校などで、お迎えの時間にバラつきがあったがもっと柔軟に対応できた場面もあったかな、と思う部分もある。	・今後もコロナの影響は続きそうなので、しっかりと柔軟に対応できる体制を整える必要がある。来年度に向けて、スタッフの採用予定もあるので、余裕を持った人員配置をしていく。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			4	・いま現在、医療的ケアが必要な児童はいないが、今後いつ受け入れてもしっかりと対応できるようにしていく。協力医療機関をベースに、あらゆることを想定して準備する。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			4	・今年は保育園等からの受け入れがなかったが、今後その場面があればしっかりと情報共有をして、相互理解に努める。書類等は常に準備しておく。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			4	・今年は事業所から障害福祉サービスへの移行がなかったので、今後その場面があればしっかりと情報共有をして、相互理解に努める。必要な時に提供できるよう、書類等は常に準備しておく。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1		・参加できる時は参加しているが、まだ関わりが薄い。	・より良い支援を提供するためには、専門機関との連携が必須なので、今後はより密な連携を図っていききたい。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		・公園や児童館で関わる機会がある。	・今年はコロナウイルスの影響でなかなか外部との関わりや接触がなかったので、感染症の状況をみながら増やしていきたい。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3		・なかなか機会がなかった。	・今年はコロナウイルスの影響でなかなか外部との関わりや接触がなかったので、感染症の状況をみながら増やしていきたい。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			・連絡帳だけでなく、電話やメール、ラインを活用して保護者が連絡を取りやすい環境を作っているようにしている。	・今後は、更に円滑な情報共有ができるようにアプリの導入などを検討していく。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1		・コロナウイルスの影響で勉強会や交流会はできなかったが、その代わりに育児に関するお便りを配布した。	・コロナウイルスの影響で毎年恒例のBBQや子育てサロンが実施できなかったため、来年度はリモートの導入などを検討して実施したい。
保護者への説明書	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	3		・契約時に、重要事項説明書や運営規定の説明を行なっている。	・言葉が難しいと言う意見があったので、今後は保護者様にしっかりと伝わるように、言葉を選んで伝えていきたい。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			・毎年、BBQや子育てサロンを通して子育て保護者会を開き、その際に悩み相談を行なっていたが今年はコロナの影響でできなかった代わりに子育てに関するお便り配布をした。	・来年度はコロナが落ち着いたら積極的に保護者交流や悩み相談会、子育てサロンを実施していきたい。万が一に備えて、zoomを活用したりリモート勉強会、悩み相談会ができるように準備していく。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4				
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			・苦情があった際には迅速に対応し、改善に努めている。	・事業所のみでの解決ではなく法人全体にもしっかりと報告し、早期の解決に努める。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			・ブログ、タイムラインを通してしっかりと活動の様子を配信している。また、毎月のお便りを通して行事予定などを発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	4			・ロッカーは施錠している。	・ブログなどのネットに児童の様子を載せる際には、個人情報が漏洩しないよう細心の注意を払っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			・空間整備を心がけている。	・手話、ジェスチャー、iPadなどのツールを用いている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4		・今年はコロナウイルスの影響で外部との接触ができなかったため、来年度は地域住民を招待し、地域に根付いた支援ができるよう取り組んでいく。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	3		・マニュアルを策定し、事業所内に掲示している。	・もっと、保護者の皆様にも周知する必要があるため、モニタリングの際に再度お伝えしたり、ブログに掲載するなどしていく必要がある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			・年に2回、避難訓練を実施している。	・今後も定期的を実施し、万が一に備える。また、防災グッズなどもしっかりと備えておく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			・外部講師を活用したり、他の研修に参加など、年1回以上は参加している。	・虐待はあってはならないことなので、今後も定期的に参加し、適切な対応を学び、スタッフ全員の意思統一に励みたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	2		・契約書、重要事項説明書に記載している。	・児童の特性を事前に個別支援会議の中で把握し、保護者様へ対応を確認する。引き続き、利用開始時に個別支援会議を実施し、児童の特性を理解しておく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			・医師の指示だけでなく、フェイスシートを活用して把握している。	・定期的に児童のアレルギー情報などを確認し、おやつ提供時にはしっかりと注意していく。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			・事例集を作成し、定期的にスタッフで共有している。	・同じことが二度と起きないように、定期的に共有して日々のサービス提供時に緊張感を持って取り組んでいく。	